

留 学 報 告 書

記入日:2019年2月6日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	ベトナム
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 現地言語: Dai Hoc Quoc Gia Hanoi, Dai Hoc Ngoai Ngu
留学期間	2018年8月～2019年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	交換留学生故、学年なし年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	日本語文化学部(元々は特定の学部ではなく外国語大学に所属するという契約であったが、なぜか日本人留学生は日本語文化学部になつていた。カナダ人留学生は英語学部に、、、しかし留学生は国家大内のどの授業も受講できるので所属はあまり意味を為さない。) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年2月3日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月下旬 2学期:1月上旬～6月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	4
創立年	1993

留学費用項目	現地通貨 (ドン)	円	備考
授業料	20862000	98500 円	私費で受けたベトナム語の授業のみ、1h7USD、その他の授業は授業料なし
宿舍費	14600000	73000 円	6か月分の部屋代 55000 円+各月の水道電気代(2000~4000 円)(学生寮)
食費	36000000	180000 円	より安く済ませることも可能、日本食が恋しくなるとこのぐらい。生活スタイルによりピンキリだが、自分は基本ローカルフードでたまに日系レストランというような生活であった。
図書費		円	
学用品費	1000000	5000 円	教科書など
教養娯楽費		円	
被服費	2000000	10000 円	
医療費	900000	4500 円	歯医者、一部保険適用外
保険費	30000000	150000 円	形態:明治指定のもの
渡航旅費	19930000	99650 円	
雑費	10000000	50000 円	交際費等
その他	100000	50000 円	旅行費用
その他		円	
その他		円	
合計	143130000	715650 円	

渡航関連

渡航経路: 東京⇔ハノイ

渡航費用

チケットの種類 直行便

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 99650 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 3 人)

3) 住居を探した方法:

大学担当者からの紹介

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

住人のほとんどはベトナム人学生なので、常に交流できます。仲の良かった友達はほとんど寮の学生で、毎晩一緒に遊んだりベトナム語を教えてもらったりと、ベトナムを知るためには最良の環境だと思います。外国人留学生もちらほらいます。ただ、外の工事や道路の騒音、爆音で流れてくる音楽などで集中して何かに取り組める環境ではないです。また、管理や手続きの杜撰さなどで何度もトラブルが発生します。僕の部屋は何か月も使われていなかったようで、シンブルにめちゃくちゃ汚かったです。最初に買ったものは殺虫剤でした。住むと生命力が付きます。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した: 現地の日系の病院

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

日本語文化学部から日本人留学生に担当の先生、学生のパートナーがついてくれます。ただ、大体みんな適当なので自力で解決するか、友達に相談しました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

なかった

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の部屋 wifi はあったものの使用できなかった。何度も管理者に依頼したがまともに取り合ってくれなかったので隣の部屋のものを使わせてもらっていた。ただ、sim カードは 4G 回線が 1 か月 1000 円ぐらいで、1 日 4GB なので、そこまでネットに関して困るということはなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカード、海外キャッシュパスポートで現地 ATM で現金を引きだしていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ヒートテック。ハノイの冬はそこそこ冷えます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
メーカー、商社、営業職
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
三年後期に1セメスターのみの留学であったが、ベトナムの事をもっとよく知りたいと思い、一年休学して今度はホーチミンでインターンをすることに決めた。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 8単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	日本文化言語学部
履修期間	2018 年前期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Mibin
授業内容	日本文化に関して日本語で学ぶ。日本語の授業的側面もあり。何度か特定のテーマに関してグループでプレゼンあり。
試験・課題など	プレゼンテーション
感想を自由記入	後述するがベトナム語の学習に集中するため、なるべく単位取得の簡単さと友人をつくるチャンスを目当てに受講。内容は薄く(日本語のアウトプットの機会という面ももちあわせているので仕方ないが)、よく練られているとは言い難かった。学生も教授も熱量を持って臨んでいるという印象は受けなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Presentation Skill	プレゼンテーションスキル
科目設置学部・研究科	日本語文化学部
履修期間	2018 年前期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、実践、企業への訪問(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 240 分が 1 回
担当教授	内野 英治
授業内容	プレゼンテーションスキルと日本のマナー講座、日系企業への訪問インタビュー。内野氏はもともとキャノンに勤めておりアメリカ、フランス駐在を経験され、ベトナムにおいても日本人ビジネスマンとのコネクションがある。プレゼンそのものというより、日本語を学ぶ学生に日系企業に関して学ばせる、またコネクションをつくらせるという側面が強かった。
試験・課題など	グループでのプレゼン
感想を自由記入	経験豊富な元ビジネスマンである内野氏や現地に進出する日系企業の方々のお話を伺える機会があるということで受講。ベトナムで実際にビジネスをする方々と交流する良い機会だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Tiếng Việt dành cho người Nhật 1	日本人向けベトナム語1
科目設置学部・研究科	日本語文化学部
履修期間	9 月~10 月上旬
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 3 回
担当教授	本学学生三人が交代で担当
授業内容	学生のボランティアでノンネイティブ向けのテキストに沿って授業をする。日本語学科の学生で厚意でやっていただいた。
試験・課題など	復習、テスト
感想を自由記入	授業のクオリティ自体は低い。学生のボランティアということでももちろんやる気がないわけではないが、授業をやった経験や、また言語を学ぶためのポイントも抑えているわけではなく、ただ教科書を朗読するというようなものであった。なので受け身で授業を受けることはせず、完全にアウトプットと単位取得の場として活用していた。余談だが、自分のほかに留学生が 2 人、日本語教育の教育実習として来ていた院生が 2 人いたが、彼らは特にベトナム語を本気で学びたいということではなかったため時に授業の方向性に異を唱える自分と衝突した。ネイティブの同世代と最も簡単に繋がれ、安上がり、また(簡単に)単位を取れるという面、そして自分は個人的に完全にアウトプットの場として使っていた故、満足度は悪くなかったが、惰性でこの授業を受けても何の意味もないと感じる。目的意識を持ち、自分で言語学習のプロセスと課題を定義して臨むべき授業(?)であり、自分から働きかけない限り基本的に講師陣は何も有用なことは教えてくれないと考えた方がよい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Tiếng Việt dành cho người Nhật2	日本人向けベトナム語2
科目設置学部・研究科	同上
履修期間	10月中旬~12月下旬
単位数	以下同上
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Tiếng Việt dành cho người nước ngoài	外国人向けベトナム語
科目設置学部・研究科	University of foreign language
履修期間	9月~2月
単位数	0
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	個人授業(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 3 回
担当教授	Bích
授業内容	ベトナム語
試験・課題など	特になし
感想を自由記入	私費での授業であり、公式に単位が取れる科目ではないが、外国語学科に設置された授業であった。1対1の個人授業であり、講師の方も外国人に教え慣れていたため満足度はかなり高かった。講師の方は英語も日本語も話すことはできず、ベトナム語でベトナム語を教えるというスタイルであった。講師の方により授業スタイルは違い、英語で教える先生もいた。この先生に教えて頂くこのになったのは偶然であったが、ベトナム語能力 0 から半年で最終的に日常会話レベルになったので自分的にはその言語をその言語で学ぶ方法、そして先生との相性が合っていたのだろう。余談だが本当に良い先生で、現在も気にかけて頂いている。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2017年 1月～3月	シンガポール、マレーシア、タイへの旅行
4月～7月	TOEFL の勉強
8月～9月	出願準備
10月～12月	選考、合格発表
2018年 1月～3月	ラオス、ベトナムへの旅行
4月～7月	ベトナム語勉強開始、国家大との手続き開始、保険加入
8月～9月	留学開始、履修登録、私費でのベトナム語の授業開始
10月～12月	中間試験、期末試験
2019年 1月～3月	成績発表、成績登録のための手続き、帰国、休学して再びベトナムへ
4月～7月	ホーチミンでのインターン。現地クラフトビール会社での営業職
8月～9月	同上
10月～12月	同上

留学体験記

留学しようと決めた理由	元々、東南アジア諸国へ旅行、インターン、ボランティアなどでよく行っており興味を持ち、東南アジアの国へ長期留学をしたいと思いました。ベトナムを選んだ理由はベトナムの文化を知っていること、ベトナム語が話せることが今後の人生において武器になると思ったからです。現在バブルのような景気であり、またさらなる発展の可能性を秘めた国です。日系含め多くの外資系企業が進出中であり、日本人で英語ベトナム語話者というレアなカードを持つことでチャンスが広がると考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	・ベトナム語の学習です。簡単な文法、発音を勉強してから行ったものの、もっと勉強しておけば良かったと感じています。 ・facebook 上の3万人ぐらい参加者がいるベトナムと日本の交流のグループでベトナムに留学するという投稿をしました。それを通じて起業家の方と会うチャンスや日本語学校でのボランティアの話を頂くことができました。
この留学先を選んだ理由	ベトナム国内での協定先かつ自分の TOEFL の点数で出願できるのが国家大のみでした。また、元々「東南アジアの貧困と教育」というテーマに興味があり、それに関連する授業が開講されていたことも理由です。(結局そのテーマに対して興味を失ってしまったのでベトナム語の学習に集中していました。)
大学・学生の雰囲気	ベトナムトップの大学というだけあって、どの学生も優秀です。また、日本言語文化学部はベトナム国内で最も充実した日本語教育機関と言われており、日本人留学生を歓迎してくれました。学生の雰囲気は人によるとしか言いようがありません。。。
寮の雰囲気	ほとんどの居住者はベトナム人学生なのでベトナム人の友人を作り、文化を知るという面では最も良い環境でした。授業後、夕方から深夜にかけて学生は中庭でスポーツやダンスに興じていたり、ギターを弾いていたり賑やかな雰囲気です。
交友関係	大学では趣味のダンス、授業、寮での生活を通じて、大学外では越日交流会の設立、日本語学校でのボランティア、アルバイトなどで友人が増えていきました。また HelloTalk という言語交換アプリなどを通じて日本語学習者と言語を教え合ったり、遊びに行ったりしていました。常に積極的に交友関係を広げるように努めていました。日本人コミュニティのイベントなどにも情報収集、コネづくりのために参加していました。友人の田舎によく遊びに行っていました。
困ったこと、大変だったこと	履修登録、成績証明、寮関係等、ありとあらゆる手続きがうまくいかなかったことです。基本的にベトナムの事務手続きは精度に欠けます。どんな手続きも忘れ去られていたり、中途半端な終わり方をしたりと、トラブルの連続でした。担当者によっては悪びれもせずなんか文句あんのかぐらいの感じで来るので、そこで負けてはいけません。ベトナム人の友達に助けをもらって、もっと立場の強い人に相談する、しつこく頼み続けるなどの対処法を取りました。誰かがやってくれる、一度言ったことが問題なく完璧に遂行されるという日本人的な感覚は絶対に通用しないです。大学において、事務手続きがうまくいかない理由は、統一された事務機構が存在しないことです。よって複数人の教授、担当者が学生の面倒を見て、さらに留学生の面倒(履修登録等、ありとあらゆる書類手続き)も観ているという状況でした。よってノウハウが後任者に継承されず、情報は共有されないというような状態です。なのでそれぞれ担当者によって言っていることが違い部署をたらいまわしにされることもしばしばありました。ただ、この曖昧さと個人のさじ加減で業務がなされている以上、それを逆手に取れば自分の都合の良いように要求を通すことも可能でした。
学習内容・勉強について	日本語学部の授業を2つ、ベトナム語の授業を2つ取っていました。ベトナム語に集中するため英語で開講される授業は全く受講しませんでした。合理的な判断だったと思います。日本語学部の International Communication という授業は友達作りがてら受講しました。また、プレゼンテーションスキルの授業は日系企業への訪問や起業家の公演などを目的に受講しました。ベトナム語の授業は日本語文化学部が日本人留学生向けに開講するもの、国家大が留学生向けに開講するものの2種類を受講していました。前者は学生がボランティアで日本語を使い教えてくれましたが、ベトナム語を教える経験があるわけではなかったのものでそこまでクオリティは高くなかったです。後者はベトナム語をベトナム語で、一対一で教わるというものでした。先生も留学生に対して教え慣れており、この授業のおかげで私のベトナム語はかなり伸びたと思います。基本的に留学生は自分の所属大学、学部に関わらず、国家大内でのどの授業もとることができます。明文化されたルールというか、むしろ何のルールもない故にできることですが、交渉とコネ次第でどんなことでも学べます。

課題・試験について	日本文化言語学部の授業は課題も試験も当然共に日本語なので、難易度は高くありません。グループでのプレゼンがそのまま評価につながるものが多かったです。ベトナム語の授業では毎回の宿題と中間期末のテストがありました。
大学外の活動について	自分の留学では大学の授業より学外での活動が中心でした。まず趣味のダンスをやっていました。ちょうど寮の玄関がダンサーのたまり場で、そこで一番仲の良い友人と出会いました。また明治に交換留学されていたベトナム人の先輩と越日交流会を立ち上げ、言語交換会や料理交流会などを行いました。また、教育系のベンチャーでアルバイトをしていました。日越マラソン大会、ダンスフェスティバルなどのイベントにも参加しました。日本語学校でのボランティアもしていました。
留学を志す人へ	<p>まず、留学先は欧米圏だけではないということを知ってほしいです。大半の人が欧米圏を選びますが、東南アジアやアフリカも興味のある人には是非選択肢に入れてほしいです。世界という市場で戦う以上英語ができるようにならなければいけないのは当然ですが、さらに新しい言語を学ぶチャンスがあり、希少価値の高い経験ができ、そしてなにより毎日エキサイティングです。</p> <p>また、留学先では本当に色々な人に助けていただいたり、優しくしていただけたと思います。その人たちへの感謝を忘れないようにしてください。</p> <p>あとここで書くのは少し憚られますが…、留学以外にも海外に行く手段としてインターンというのがあります。得られる経験、能力はそれぞれ違います。僕は半年の留学後、一年休学して今はホーチミン市でインターンをしています。そんな選択肢もあるんだあという感じで覚えておいてください。</p> <p>どちらを選んだとしても、面白くてかけがえのない経験になることは僕が保証します！ご興味があれば、是非ご連絡ください、何かアドバイスできると 생각합니다。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	カフェで勉強	授業	カフェで勉強	授業	交流会	友達の里帰りに同行
	授業	カフェで勉強	授業	カフェで勉強	授業	交流会	
午後	ベトナム語授業	ベトナム語授業	ベトナム語授業	ベトナム語授業	ベトナム語授業	日本語学校ボランティア	
	ベトナム語授業	ベトナム語授業	ベトナム語授業	ベトナム語授業	ベトナム語授業	日本語学校ボランティア	
夕刻	友達とベトナム語勉強	友達と部屋でダラダラ	友達とベトナム語勉強	バイト	友達とベトナム語勉強	友達とベトナム語勉強	
夜	ダンス	読書	ダンス	宴会	友達と映画	ダンス	